

# 平成 27 年度 定時社員総会議案書

日 時：平成 27 年 6 月 28 日(日) 午後 1 時から

会 場：ソレイユプラザなごや

名古屋市中区栄 1 丁目 23 番 13 号 伏見ライフプラザ 12 階

## <議 案>

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び収支決算報告（監査報告）

承認の件

第 2 号議案 平成 27 年度事業計画の件

第 3 号議案 平成 27 年度収支予算の件

第 4 号議案 理事選任の件

一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト

## 第1号議案

平成26年度事業報告及び  
収支決算報告承認の件



平成 26 年度 事業報告 平成 26 年 5 月～平成 27 年 4 月

1) 調査・研究事業

◆社会的孤立から社会的自立に向かうための「居場所」の在り方に関する調査

(自主事業)

期間：平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月

平成 27 年 4 月から開始する居場所事業に先立ち、社会的孤立の状態から地域とのつながりや役立ちに向かうために、「居場所」にはどのような仕組みや機能等が必要なのかについて調査し、草の根ささえあいプロジェクトの「居場所」がどうあるとよいかを検討した。

訪問先事業所

ささしまサポートセンター、のわみ相談所、愛知 PFS 協会、一般社団法人しん日本ダイバーシティ推進協会、若者支援事業団、コミュニティハウス ひとのまポトスの部屋

◆複数の困難を同時に抱える生活困窮者へのヒアリング調査に基づく、当事者サイドからみた相談支援事業のあり方に関する研究 報告会

期間：平成 26 年 5 月

平成 23 年度に実施した「社会的貧困に至るプロセスおよび 支援のメカニズムに関する調査」に引き続き調査として行った、「複数の困難を抱えた方がどのように支援機関とつながり、信頼関係を作っていたか」について当事者サイドの視点からの研究調査を行い、報告会を開催した。愛知県内の者を中心に、約 350 名の者が参加した。

◇5/24 (土) 中小企業振興センター「メインホール」 ◇参加者 350 名

『生活困窮の課題を地域でどう解決してゆくか

～支える側と支えられる側の関係を越えて～』

テーマ	ゲスト
「生活困窮者自立支援法の概要」	厚生労働省 生活困窮者自立支援室 室長 熊木 正人 氏
「社会的孤立を生み出さない地域への挑戦」	コーディネータ： 山田 壮志郎氏 (日本福祉大学准教授) パネリスト：熊木 正人氏 (厚生労働省社会援護局) 原田 正樹氏 (日本福祉大学教授) 生水 裕美氏 (野洲市役所) 中川 健史氏 (仕事工房ポポロ)



## 2) 相談・支援事業

### ◆名古屋市子ども・若者総合相談センター（名古屋市受託事業）

期間：平成 25 年 6 月～

名古屋市在住のニート、引きこもりなどの若年者の社会的課題を解決するための相談機関。困りごとの背景にある、個人特性（発達障害・軽度の知的障害・精神障害など）、環境特性（生活困窮、虐待、DV等）を総合的に解決するためのワンストップセンター。引きこもりやニートの結果でもある生活困窮にも取り組み、生活課題から就労自立まで、対象者の自立を継ぎ目なく見守る体制とネットワークを確立した。

＜平成26年度実績＞ ◇新規登録者数：311人  
 ◇面接相談延べ件数：1,458件 [月121.5件]  
 ※うち訪問相談：391件 [月32.6件]  
 ◇電話：2,251件 [月187.6件] ◇メール：552件 [月46.0件]  
 総相談件数：4,261件

#### ＜複数の困難と解決のメニュー＞

##### ◎環境[住まい・家族関係・外部環境]

- ・住居支援 ・各種申請手続き
- ・家族関係の修復のお手伝い
- ・職場、家庭等の外部環境改善のアドバイス

##### ◎生活[病気・お金・食事・生活習慣]

- ・医療へのつなぎと同行
- ・金銭管理・食糧支援
- ・家事（炊事・掃除）の援助
- ・服薬管理、食事管理等、日々の生活の管理

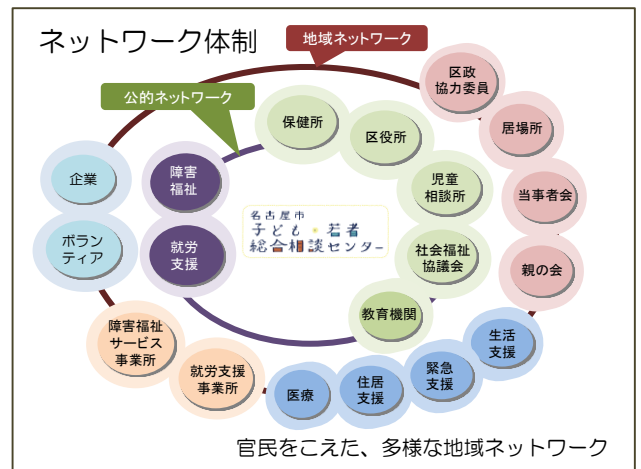
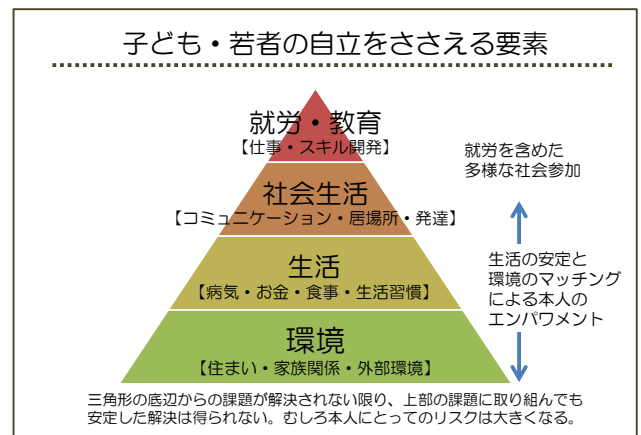
##### ◎社会生活[コミュニケーション・居場所]

- ・自助グループへのつなぎと同行
- ・居場所への開拓 ・役立ちの場へのつなぎ

##### ◎就労・教育[仕事・学び・スキル開発]

- ・フリースクール等へのつなぎ
- ・学習支援 ・ハローワーク同行
- ・キャリアコンサルティング
- ・就労支援機関へのつなぎと同行

これらの支援メニューにネットワークを通じて取り組んでいる。



#### ＜特筆すべき成果＞ 官民を越えたネットワークでの相談体制の確立

◇支援機関との連携 → 連携機関とのケース会議開催実績：165回（月平均13.6回）

◇インフォーマルな協力体制 → 一般市民へのボランティア「よりそいサポーター」の募集開始



### 3) 福祉サービス事業

#### ◆事業所 居宅介護事業所でこぼこ

期間：平成 25 年 7 月～

主として名古屋市内で、障害者総合支援法に基づく、居宅介護、重度訪問介護、同行援助、移動介護などの障害福祉サービスを提供した。人は違って当たり前、みんなが同じ社会で生きる生活者であって「できること、できないことのでこぼこを持った人の集まる場所」。そんな思いが『でこぼこ』という名前に込められている。

◇サービス利用者人数：24 名



#### <でこぼこの理念>

全ての人が生きていることってすてきだなと感じられるために…

- 1) 弱さも強さも含めた全ての人の可能性を信じます
- 2) それぞれの人がふみだす小さな一歩をお手伝いします
- 3) 利用者もでこぼこもかかわりあいのなかで  
学び、育ちあいます。





#### 4) 生活就労支援事業

##### ◆猫の手バンク

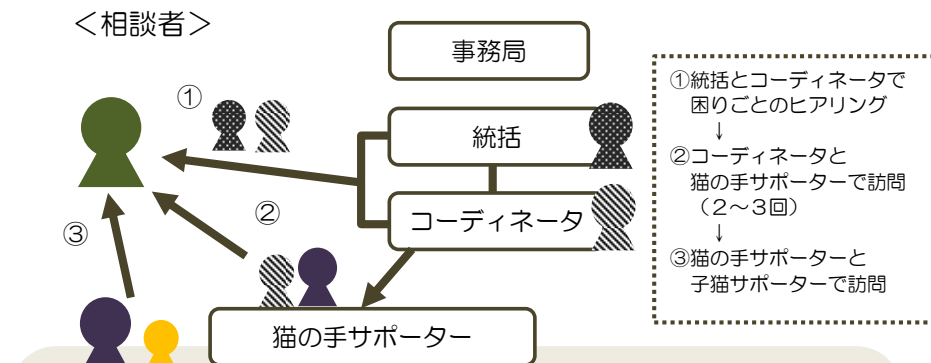
期間：平成 25 年 5 月～

##### <活動ミッション>

社会的に弱い立場の方の「身近でささいな日常」を丁寧に受け止め応援することで、社会的孤立や貧困に陥るプロセスを、早期の段階で防ぐ役割を担う

<活動内容>制度のみでは解決に至らない困りごとを抱えた、社会的弱者の方への包摂型生活支援。同行・訪問などのアウトリーチにより本人の生活圈まで出向き、暮らしに密着した日常の様々な困りごとを、よりそいながら解決する。

##### <猫の手バンクのしくみとサポート内容>



##### ◆猫の手サポーターメニュー◆

###### 通訳（同行・仲介）

- ◎主治医訪問・同行
- ◎家族との仲介
- ◎生活保護ケースワーカーの仲介など

###### 申請手続き

- ◎年金手続き
- ◎生活保護申請手続き
- ◎滞納金（電気・ガス・電話）支払手続き など

###### 相談

- ◎悩み相談
- ◎傾聴 など

###### 訪問・見守り

- ◎定期的な家庭訪問
- ◎引きこもりの方への訪問
- ◎低所得家庭の子ども等の学習支援 など

###### 身の回りサポート

- ◎部屋の片づけ（ゴミ屋敷等）
- ◎住まいの営繕
- ◎買い物同行 ◎食糧支援
- ◎入退院のお手伝い など

###### 特別部隊

- ◎就労支援
- ◎社会資源の開拓  
ボランティア先・居場所・就労先  
など相談者が必要とするもの

##### ◆◆◆ 猫の手バンク報告会の開催 ◆◆◆

日時：2014年9月17日（水）18：30～21：00

場所：日本福祉大学 名古屋キャンパス南館 401 講師：日本福祉大学 原田正樹先生

参加者：38名 ※猫の手バンクの相談者が登壇し、回復のプロセスを発表



◆名古屋市就労訓練推進（中間的就労）モデル事業

期間：平成 26 年 4 月～

生活困窮者自立支援制度における、中間的就労の ①先進事例調査 ②参画する企業や事業所の開拓 ③中間的就労支援のパイロット事業（困窮者の就労支援）を実施。対象者の長期就労（自立）を本人・受入れ企業・支援者と協働で目指すことで、地域が成長することを目的とした「なごやモデル」の確立に向けて、モデル実施を行った。

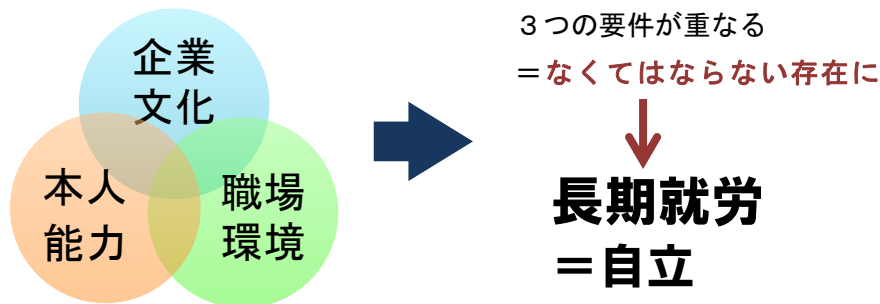
<方針>

“就労訓練による本人の能力アップ”に留まるのではなく、関わる全ての人や組織が成長し、『地域全体が育っていく』中間的就労を目指すことを方針とする。

○目標 ～方針を実現するために必要なこと～

生活困窮者（対象者）が職場でなくてはならない存在になる支援

○要件 ～職場でなくてはならない存在になるための、3つの要件～



<中間的就労の仕組み>

就労意欲はあるものの、様々な家庭環境や本人の特性により働けていない方と人材を求める企業をつなぎます。事前に就労先企業（働く場そのもの）で実習をし、対象者が働きやすい環境設定をすることで長期就労につなげます。

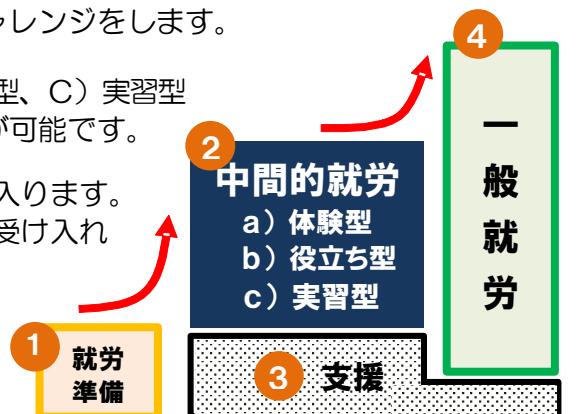
1 中間的就労には「就労準備」を経て、生活リズムや働く体制が整い、かつ就労意欲のある方がチャレンジをします。

2 「中間的就労」には、a) 体験型、b) 役立ち型、C) 実習型の3タイプを設定しており、受け入れの選択が可能です。

3 受け入れの前や実施中には、「サポート」が入ります。支援員が受け入れ事業所に出向き、対象者と受け入れ事業所両者のアドバイザーとなります。

4 中間的就労期間就労後、雇用いただく場合、雇用後も支援者によるサポートが続きます。

※中間的就労は終了後の雇用を確約頂くものではありません





5) ネットワーク事業

◆まるナゴ（インフォーマルネットワーク名古屋）

期間：平成 26 年 5 月～

「まるナゴ」（インフォーマルネットワーク名古屋）の勉強会を定期的開催。各支援団体だけでは解決に至らない事例の共有、制度に当てはまらない困りごとを抱える方への支援の方法などの意見交換を行い、支援者の顔の見えるネットワークづくりを行った。また、定例会の中から、ひきこもりに対するアウトリーチスキルを体系化しようという有志によるプロジェクトが立ち上がり、マニュアル化に向けて継続中である。



月	内容	参加者
5月定例会	5/17 飛び出せまるナゴ！日本ダイバーシティ推進協会様・居宅介護事業所でこぼこ訪問	11人
6月定例会	6/20 飛び出せまるナゴ！ささしまサポートセンター様訪問	13人
7月定例会	7/8 金銭管理について（講師/暮らしとお金のPro-lab様）	12人
8月定例会	8/7 依存症について（講師/セレニティークジャパン様）	10人
9月定例会	9/14 ケース検討会	9人
10月定例会	10/15 できることもちよりワークショップ	21人
11月定例会	11/29 飛び出せまるナゴ！愛知 PFS 協会様訪問	18人
12月	12/30 ひきこもりアウトリーチスキル体系化プロジェクトミーティング	8人
1月	1/19 第2回アウトリーチスキル体系化Pミーティング	7人
1月定例会	1/30 ケース検討会	13人
2月	2/24 第3回アウトリーチスキル体系化Pミーティング	9人
3月定例会	3/6 療育の必要な子ども・若者のための地域連携について（講師/刈谷病院 平野院長）	10人
4月定例会	4/23 ケース検討会	11人





◆草の根研究会（草ラボ）

期間：平成 25 年 5 月～

メンバーや支援者だけでなくどなたにも自由に参加いただき、草の根ささえあいプロジェクトの活動報告を行うと共に、地域でのささえあい、社会的包摂、日々の生活の中での悩みなどのテーマについてワークショップを用いた議論する定例会議（月 1 回開催）を開催。

日程	参加人数	ワークショップ（OST）テーマ
6/22	14 人	「活動の情報共有～しきいを下げるには～」 「よりそう支援とは」 「昨年度の草の根の調査事業の意味」 「評価するとは」「柔軟な思考とは」「文章を書いて生活するにはどうしたら良いか」
8/24	18 人	「相談支援員にどう対応するのがベストか」「寄付：氷バケツチャレンジはあり？なし？」 「ボランティア、有償と無償の境目は」「耳が聞こえない、話すこともできない人がいたら、どうやってコミュニケーションをとりますか？」
10/26	15 人	「相談にこられた人と面談を始める時は、信頼感の構築からか見立てからか」「居場所の名前」「障害の受容」
12/14	17 人	「医療情報を、どうとらえるか」「来年のまるナゴについて」「どんな居場所がいいか」「当事者、障害者になったときにどう関わるか」 ☆番外編：クリスマス会
2/8	13 人	「チャレンジ班はどうすればチャレンジできるか？チャレンジできないエッジは何か」「各班の取り組みを、私の開発中のシステムで広く公開してみませんか？」「あなたが今だれにどんな言葉を伝えたいですか？」
3/22	14 人	「仕事や活動をするにあたって、広報をどうやって行なっていくか」「大学へ行くことって必要？」等 ☆番外編：映画「みんなの学校」鑑賞



6) 研修・普及事業

◆支援者向け研修事業

開催日	タイトル	概要	参加者
11月16日	発達障害勉強会	基調講演	68人
12月28日	発達障害勉強会1	自閉症・発達障害の特性について	39人
1月12日	発達障害勉強会2	現場での構造化について	37人
3月29日	発達障害勉強会3	ケース検討 ～具体的なプランの作成～	33人

※連続講座4回目「実践後のケースの振り返り」は平成27年6月7日に開催

◆できることちよりワークショップ

複数の困難を抱える人たちの問題解決を、①多分野でつながることによってくできること>の可能性の共有と、②それでもなお不足する機能やスキル、ネットワーク等を確認し、地域で開拓していく方法を追求することで、「しかたないよね…」から「なんとかできるかも！」に変えていくプロセスを体験・共有するワークショップを開催。

平成26年度は、さいたま市と瀬戸市で実施した。

開催日・場所	内容	参加者
10/31(金) さいたま市内	できることちより ワークショップ	40名(保健師、心理士、 ケースワーカー、行政職員等)
11/30(土) 瀬戸市内	帰ってきた!できること ちよりワークショップ	50名(若者就労支援、障害者 就労支援、ホームレス支援者等)



参加の方の 関心関係分野	関係があります		関心があります	
	愛知県内	他地域	愛知県内	他地域
権利擁護	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
就労	●●●●●●●●	●●●●	●●●●●●●●	●●●●
障害者	●●●●●●●●	●●●●	●●●●●●●●	●●●●
若者	●●●●●●●●	●●●●	●●●●●●●●	●●●●
ホームレス	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
高齢者	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
外国人	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
D	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
子ども	●●●●●●●●	●●●●	●●●●●●●●	●●●●
母子	●●●●●●●●	●●●●	●●●●●●●●	●●●●
医療	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
建物・福祉施設	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
居場所	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
労働・法律	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●
その他	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●



◆講演

講演日	場所	内容
8月	名古屋市	オレンジの会（研修講師）
9月	野洲市	街かどケア滋賀ネット（「中間的就労」報告）
	名古屋市	暮らしと法律を結ぶハウネット（活動報告）
11月	福島市	JANNET（障害分野 NGO 連絡会） （できることもちよりワークショップ）
1月	東京都	JANNET（障害分野 NGO 連絡会）（実践報告）
2月	滋賀県	「街かどケア滋賀ネット」記念式典（活動報告）
3月	東京工業大学	「社会イノベーションとノンプロフィットセクター」（講師）
4月	名古屋市	なごやみらいロータリークラブ（活動報告）
	豊橋市	東三河社会就労センター連絡協議会（活動報告）
	瀬戸市	せと・おせっかいプロジェクト（できることもちよりワークショップ）
	名古屋市	子ども・まちネット（子どもの貧困座談会） など

◆新聞報道

朝日新聞：愛知県知事選によせて



# 監査報告書

平成 27 年 6 月 17 日

一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト  
代表理事 渡邊ゆりか 殿

私は、本法人の平成 26 年度 事業年度（平成 26 年 5 月 1 日から平成 27 年 4 月 30 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等閲覧し、事業所において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち収支計算書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書の監査を実施しました。

## 記

### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

平成 27 年 6 月 17 日

監事 布川 直樹



## 第2号議案

平成27年度事業計画の件



## 平成 27 年度事業計画 平成 27 年 5 月～平成 28 年 4 月

### 1) 調査・研究事業

#### ◆社会的孤立から社会的自立に向かうための「居場所」の在り方に関する調査

(自主事業)

社会的孤立の状態から地域とのつながりや役立ちに向かうために「居場所」にどのような仕組みやプログラム等が有効かを調査研究する。

### 2) 相談支援事業

#### ◆名古屋市子ども・若者総合相談センター（名古屋市委託事業）

ニート、引きこもり、不登校など、若年者の社会的課題を解決するためのワンストップ相談センター。困りごとの背景にある複数の課題に総合的に取り組み、対象者を継ぎ目なく見守るため、官民を越えたネットワークづくり。アウトリーチや同行支援を中心とした相談者によりそった相談活動をする。

### 3) 福祉サービス事業

#### ◆居宅介護事業所 でこぼこ（自主事業）

障害者総合支援法に基づく障害者の家事援助等、ヘルパーサービスを提供する。

### 4) 生活就労支援事業

#### ◆猫の手バンク（自主事業、一部名古屋市委託事業）

様々な理由により福祉等の既存の制度やサービスに乗ることができず、社会的孤立や困窮状態にある方の生活支援をボランティアにより行う。また、名古屋市子ども・若者総合相談センターのボランティアサポーターとして、同行支援などを行い子ども・若者を状況に応じた適切な支援につなげるとともに、自立までの見守りを行う。最終的に地域でのささえあいにつなげることを目的とする。

今年度より、名古屋市子ども・若者総合相談センターにて実施するボランティア事業「よりそいサポーター」と共同実施となる。

#### ◆名古屋市就労訓練推進（中間的就労）モデル事業（名古屋市委託事業）

生活困窮者自立支援制度における、困窮者の中間的就労事業を実施。対象者の長期就労（生活支援から就労自立まで）を本人・受入れ企業・支援者と協働で目指すことで、地域が成長することを目的とした〈なごやモデル〉の確立を実施する。



## 5) 地域コミュニティ創出事業

### ◆名古屋市子ども・若者総合相談センターサテライト事業（名古屋市委託事業）

名古屋市子ども・若者総合相談センターのサテライト事業。名称を「ちくさ 815」として、15歳～39歳までの、不登校・引きこもり等、生きづらさを抱えた相談者の遊び・学び・スポーツを切り口とした居場所事業を実施する。生活支援～就労支援まで、トータル的な寄り添い支援を行い、電話相談・カウンセリング・個別プログラム・家族相談も実施する。

### ◆引きこもりのための社会復帰プログラム事業（モリコロ基金助成事業）

いじめ・ひきこもり経験者が、居場所を軸とした「古本のリユース活動」を通じて、社会復帰をするプログラムを実施する。スモールステップの成功体験を積み重ねることで、自らの力で居場所や仲間を支え、人や社会への役立ちを見出し、社会復帰の意欲を取り戻すことで、就労につながるができる。同時に、本の寄付を通じて一般市民の参画を促し、小さな相互理解を積み重ねることで、誰もがお互いに支え合える社会を実現する。

### ◆学習支援事業（自主事業）

子ども・若者のための学習支援事業を実施する。

## 6) ネットワーク事業

### ◆インフォーマルネットワーク名古屋（自主事業）

重複した困難を抱えた相談者を支える多様な専門分野の支援団体が参加し、各支援団体だけでは解決に至らないケースの共有、意見交換、連携により問題解決に取り組むためのネットワーク会議（月1回定期開催）。

### ◆草の根研究会：草ラボ（自主事業）

メンバーや支援者だけでなくどなたにも自由に参加いただき、草の根ささえあいプロジェクトの活動報告を行うと共に、地域でのささえあい、社会的包摂などのテーマについてワークショップを用いた議論する定例会議（隔月開催）

## 7) 研修・普及事業

### ◆支援者向け研修（自主事業）

- ・発達障害研修

### ◆講演・講師（自主事業）

- ・草の根ささえあいプロジェクト活動報告
- ・できることもちよりワークショップ講師



◆ワークショップ（自主事業）

～「ホーム（home）～よりどころ」を創る・探す 大ワークショップ～

どんな「ホーム」を持ったら、私たちは安心して暮らせるのか。

誰もが孤立しないために、地域にどんな「よりどころ」が必要なのか。

不安、問い、希望、願望、妄想・・・様々なモヤモヤをみんなで持ち寄り、語りあうことで、地域のコミュニティやネットワークを創るため、OST（オープンスペーステクノロジー）というワークショップ手法を用いて、2日間を通してじっくりと対話を重ねる。最終的に、それぞれの具体的なアクションを生み出すことを目指す。

8) 出版事業

◆出版物の企画・発刊（自主事業）

- ・草の根ささえあいプロジェクト紹介小冊子作成

<草Pの情報はインターネットで発信しています♪>

・ホームページ：<http://grassroots.jimdo.com>

・Facebook やってます！ <https://www.facebook.com/grassroots.p>





## 第 3 号議案

平成 27 年度収支予算の件

### 第3号議案 平成27年度予算書

平成27年5月1日から平成28年4月30日まで

一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト

科 目	金 額(円)		備 考
I 収入の部			
1 会費収入			
1) 正会員会費	500,000		正会員(個人会員年会費) @10,000×50名 正会員(団体会員年会費) @20,000×10団体 賛助会員年会費 @3,000×50名
	200,000		
2) 賛助会員会費	150,000	850,000	
2 調査研究事業			
1) 自主事業	0		
2) 受託事業	0	0	
3 相談支援事業			
1) 自主事業	0		
2) 受託事業			
①名古屋子ども・若者総合相談センター	41,076,000	41,076,000	
4 福祉サービス事業			
1) 自主事業			
①居宅介護事業所「でこぼこ」	21,000,000		@1,750,000×12ヶ月
2) 受託事業	0	21,000,000	
5 生活就労支援事業			
1) 自主事業			
①猫の手バンク	0		
2) 受託事業	0		
①名古屋市就労訓練準備推進モデル事業	1,450,000	1,450,000	
6 地域コミュニティ創出事業			
1) 自主事業			
①本のリユース事業による、いじめを体験した 無業・無職者の社会復帰プログラム	6,250,000		
②学習支援	100,000		
2) 受託事業			
①名古屋市若年者自立支援サテライト事業	3,400,000	9,750,000	
7 ネットワーク事業			
1) 自主事業			
①インフォーマルネットワーク名古屋	36,000		参加費:@200×15人×12ヶ月 テキスト代:@500×10人×12ヶ月
②草の根研究会	60,000		
2) 受託事業	0	96,000	
8 研修普及事業			
1) 自主事業			
①支援者向け発達障害研修会	200,000		参加費:@10,000×20人
②講演など	300,000		
2) 受託事業	0	500,000	
9 出版事業			
1) 自主事業			
①小冊子	250,000		@500×500
②調査報告書	100,000		@1,000×100
2) 受託事業	0	350,000	
10 補助金収入			
1) 補助金収入			
①支援者向け発達障害研修会	200,000	200,000	中部名古屋みらいロータリークラブ
11 寄付金収入			
1) 寄付金収入	100,000	100,000	
当期収入合計(A)			
		75,372,000	

科 目	金 額(円)		備 考
II 支出の部			
1 調査研究事業			
1) 自主事業	300,000		
2) 受託事業	0	300,000	交通費、印刷費など
2 相談支援事業			
1) 自主事業	0		
2) 受託事業			
①名古屋子ども・若者総合相談センター	41,076,000	41,076,000	
3 福祉サービス事業			
1) 自主事業			
①居宅介護事業所「でこぼこ」	20,000,000		
2) 受託事業		20,000,000	
4 生活就労支援事業			
1) 自主事業			
①猫の手バンク	300,000		
2) 受託事業	0		
①名古屋市就労訓練準備推進モデル事業	1,450,000	1,750,000	保険料、交通費、印刷費など
5 ネットワーク事業			
1) 自主事業			
①インフォーマルネットワーク名古屋	36,000		
②草の根研究会	120,000		
2) 受託事業	0	156,000	会議費、印刷費など 会場費、会議費、印刷費など
6 地域コミュニティ創出事業			
1) 自主事業			
①本のリユース事業による、いじめを体験した 無業・無職者の社会復帰プログラム	6,250,000		
②学習支援	100,000		
2) 受託事業			
①名古屋市若年者自立支援サテライト事業	3,400,000	9,750,000	
7 研修普及事業			
1) 自主事業			
①支援者向け発達障害研修会	400,000		
②講演など	30,000		
2) 受託事業	0	430,000	会場費、会議費、印刷費など 印刷費など
8 出版事業			
1) 自主事業			
①小冊子	250,000		
②調査報告書	120,000		
2) 受託事業	0	370,000	デザイン費、印刷代 印刷代
9 管理費			
1) 給料手当	0		給料手当
2) 役員報酬	0		役員報酬
3) 賞与	0		
4) アルバイト給料	0		
5) 法定福利費	0		社会保険料・労働保険料
6) 福利厚生費	0		お茶菓子
7) 通信費	60,000		郵送料
8) 荷造運賃	40,000		宅急便
9) 水道光熱費	0		電気料
10) 旅費交通費	0		交通費
11) 接待交際費	50,000		
12) 会議費	50,000		会議費
13) 事務用消耗品費	40,000		事務用品費
14) 備品消耗品費	50,000		備品、消耗品費
15) 新聞図書費	36,000		新聞、書籍購入費
16) 印刷製本費	300,000		パンフレット、チラシ印刷代
17) 会報作成費	0		
18) 地代家賃	0		
19) 保険料	0		
20) 租税公課	400,000		法人税、消費税、収入印紙など
21) 諸会費	100,000		
22) リース料	0		
23) 維持管理費	10,000		ホームページ管理費
24) 支払い手数料	0		
25) 管理諸費	350,000		税理士報酬
26) 支払い利息	0		
27) 雑費	50,000	1,536,000	
当期支出合計 (B)			75,368,000
当期収支差額 (A)-(B)			4,000

## 第 4 号議案

### 理事選任の件

## 第4号議案 理事選任の件

新任

理事 板津 英司

また、任期満了に伴い、平成27年度の役員候補として以下の候補者を議案として提案します。

平成27年度役員候補者

理事 渡邊 ゆりか（重任）

理事 伊東 かおり（重任）

理事 上原（須藤）倉生（重任）

理事 板津 英司（新任）